

令和4年度 シラバス [家庭]

| | | | | | |
|--------|------------------------------------|-----|-----|-----------|-----|
| 教科(科目) | 家庭(家庭総合) | 単位数 | 4単位 | 履修学年(コース) | 1学年 |
| 使用教科書 | 実教出版『家庭総合』 | | | | |
| 副教材等 | 東京書籍『Super live View 家庭科 資料+食品成分表』 | | | | |

1 学習目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指導の重点

- ① 家族・高齢者について学び、高齢社会に生きるための基本的知識を学び、互いに支え合う態度を育てます。
- ② 基礎縫いやエプロンの製作を通して衣服製作に関する基礎的・基本的な知識・技術の習得することを目指します。
- ③ 健康な生活をおくるために自分自身または家族の食生活の課題を見だし、解決する力を養います。また調理実習により調理の基礎技術の習得を目指します。
- ④ 乳幼児について学び、発達の特徴や生活についての基本的知識を身につけます。
- ⑤ 安全と環境に配慮し、主体的な住生活を営むことができるように住居の機能、住環境などについて学びます。
- ⑥ 主体的な消費者として身近な課題・家庭の経済を営む上での課題を見だし解決する力を養います。

3 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけようとしている。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決しようとしている。 | 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとしている。 |

4 評価基準と評価方法

| | 知識・技能 a | 思考・判断・表現 b | 主体的に学習に取り組む態度 c |
|------|---|---|--|
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ ・ペーパーテストの分析。 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認。 ・実習や製作への取り組み。などから評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表の取り組み。 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認。などから評価します。 | 以上の観点を踏まえ ・授業中の発言、発表の取り組み ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析などから評価します。 |

5 学習計画

| 学期 | 考查 | 指導内容・教材 | 学習活動(指導内容) | 評価の観点 | 評価方法 | 時間 |
|----|----------|--|--|-------------|--------------------------|----|
| 1 | 中間 考查 | 家庭科を学ぶにあたって 第1章 これからの人生について考えてみよう 1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2節 これからの人生をデザインする 第2章 自分らしい生き方と家族 1節 自立と共生 2節 ライフキャリア 3節 共に生きる家族 4節 家族に関する法律 | ・「家庭総合」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 ・ライフステージにおける発達段階について学び、自分の課題を考える。 ・職業生活や家庭生活における時間の使い方について考える。 ・家族に関する法律の資料を見ながら、考えをまとめる。 | a b c | 定期テスト 授業の取り組み プリント | |

| | | | | | | |
|---|-------------------|---|--|---------------------------------|--|----|
| 1 | 中間 考查 | 第4章 高齢者とかかわる 1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ | ・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 ・高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ・日常生活の介助を体験する。 | b c a | | 22 |
| | 期末 考查 | 第5章 社会とかかわる 1節 支えあって生きる 2節 共生社会を生きる 第7章 衣生活をつくる 1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材の種類と特徴 3節 衣服の選択から管理まで 4節 持続可能な衣生活をつくる 5節 私たちがつなぐ衣生活の文化 6節 衣服をつくろう ○エプロンの製作 ○巾着袋の製作 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(夏休み課題) | ・「福祉」の意味について考える。 ・ボランティア活動や地域社会でのさまざまな活動の意義について考える。 ・衣服の特徴や機能について考える。 ・環境に配慮した衣生活について学び、自分たちができることを考える。 ・衣服製作を通して基礎的な縫製技術を身につける。 ・生活をあらためて見直し、解決することを検討し、実践する。 レポートにまとめ発表する。 | a b a c a b c | 定期テスト 授業の取り組み プリント 作品 レポート | 24 |
| 2 | 中間 考查 | 第3章 子どもとかかわる 1節 子どもとは 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉 | ・子どもの発達について考える。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び子どもと関わるようにする ・絵本作りや読み聞かせを通して、子どもの遊びの意義や課題について考える。 ・世界の子どもの未来に向ける。 | a b c | 定期テスト 授業の取り組み プリント 作品 | 28 |
| | 期末 考查 | 第6章 食生活をつくる 1節 人と食物のかかわり 2節 私たちの食生活 3節 栄養と食品のかかわり 4節 食品の選び方と安全 5節 食事の計画と調理 6節 これからの食生活を考える | ・食事の意義を理解する。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点に気づく。 ・栄養素の種類と働きや食品についての基礎的な知識を身につける。 ・食品衛生について学ぶ。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。 | a b c a | 定期テスト 授業の取り組み プリント 調理実習 | 30 |
| 3 | 学年 末 考 査 | 第8章 住生活をつくる 1節 人間と住まい 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する 4節 健康に配慮した快適な室内環境 5節 安全な住まい 6節 持続可能な住まいづくり 第9章 消費行動を考える 1節 消費行動と意思決定 2節 消費生活の現状と課題 3節 消費者の権利と責任 4節 ライフスタイルと環境 第10章 経済的に自立する 1節 暮らしと経済 2節 将来のライフプランニング | ・気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。 ・快適な室内環境について学ぶ。 ・災害情報の入手方法、安全への備えとして必要なことを考える。 ・主体的な消費行動について考える。 ・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 ・持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考える。 ・生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。 | a b a b c | 定期テスト 授業の取り組み プリント | 36 |

計 140 時間 (50 分授業)

6 担当から一言

生活に必要な家族、高齢者、衣生活、子ども、食生活、住生活、消費の各分野について広く学びます。習得した知識や技術を実生活に活かすことができるように取り組みましょう。

(担当：齋藤 彩美)

令和4年度 シラバス [家庭]

| | | | | | |
|--------|----------------------------|-----|-----|---------------|-----|
| 教科(科目) | 家庭(家庭総合) | 単位数 | 2単位 | 履修学年 (コース) | 2学年 |
| 使用教科書 | 実教出版『新家庭総合～パートナーシップでつくる未来』 | | | | |
| 副教材等 | 実教出版『新家庭総合～パートナーシップ学習ノート』 | | | | |

1 学習目標

生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

2 指導の重点

- ① 健康な生活を送るために自分自身または家族の食生活の課題を見だし、解決するための力を養います。食物の基礎知識や一日に必要な栄養量など健康維持のために必要な知識を習得し、また調理実習による調理の基礎技術を習得します。
- ② 安全と環境に配慮し、主体的な住生活を営むことができるように住居の機能、住空間の計画住環境などについて基礎的な知識と技術を習得します。
- ③ 主体的な消費者として身近な課題・家庭の経済を営む上での課題を見だし解決する力を養います。

3 指導計画

| 学期 | 考査 | 指導内容・教材 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価 |
|-------------|------|--|---|----|---------------------------------|
| 1 学 期 | 中間考査 | 2編 生活をつくる 1章 食生活をつくる 1人と食物のかかわり 2私たちの食生活 3栄養と食品のかかわり | <ul style="list-style-type: none"> ・食生活の歴史や食文化から、食事の意義について学習します。 ・食事調査を通して、各自の食生活の問題点について考えます。 ・栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識についても学びます。 ・食品衛生(食品の選択、食中毒、食品添加物)、についても学びます。 ・(調理実習1)(調理実習2) | 11 | 定期テスト 授業の取組 プリント |
| | 期末考査 | 4食品の選び方と安全 | | | 定期テスト 授業の取組 プリント 実習の取組 |
| 2 学 期 | 中間考査 | 5食事の計画と調 6これからの食生活を考える | <ul style="list-style-type: none"> ・栄養・食品の知識をもとに、栄養所要量、食品群別摂取量などを用いて、バランスのとれた家族の食事計画(献立作成)ができるようにします。また、調理に関する基礎的な技術を身につけ、食事マナーを知り、楽しく食事ができるようにします。 ・(調理実習3)(調理実習4) ・食品の自給率や食に関する環境について考察します。 | 14 | 定期テスト 授業の取組 プリント 実習の取組 |

| | | | | | |
|----------------------------|-----------------------|--|--|----|------------------------|
| | 期末 考 査 | <p>3章住生活をつくる</p> <p>1人と住まいのかかわり 2住まいと住まいの文化 3住まいを計画する 4健康的な住まい環境</p> | <p>・住まいの機能と気候風土や生活の関係を学び、ライフステージやライフスタイルに応じた住生活の計画ができるようにします。また、平面図の読みとりができるようにします。</p> <p>・家庭内事故や災害について学習し、安全な住まい環境について理解します。</p> | 15 | 定期テスト 授業の取組 プリント |
| 3 学 年 末 考 査 | 学 年 末 考 査 | <p>3編消費者として自立する</p> <p>1章消費行動を考える 1消費行動と意思決定 2社会の変化と消費生活 3消費者の権利と責任 4持続可能な社会環境</p> <p>2章 経済的に自立する 1経済のしくみを知る 2ライフステージを経済計画</p> | <p>・多様化した販売契約や支払い方法を知り、契約や消費者の権利と責任について理解し、消費者被害にあわないための注意や対策を学びます。</p> <p>・家計のしくみと特徴を知り、予算生活の必要性について理解します。・消費行動において意思決定のプロセスを知り、主体的な消費行動の重要性を理解します。</p> | 18 | 定期テスト 授業の取組 プリント |

計 70 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習のまとめ ・授業プリント/ファイル |
|---|

5 評価規準と評価方法

| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
|---|---|--|--|
| <p>食・住生活や消費行動や家庭経済について関心をもち、自分や家族の生活について意欲的に改善・向上に努めようとしている。</p> <p>調理実習においては、積極的にとりくみ技術の習得に励もうとしている。</p> | <p>食・住生活や消費行動家庭経済について科学的な思考を身につけ、実際の生活にむけて課題を解決する力を身につけようとしている。</p> | <p>食・住生活や消費行動・家庭経済について日常生活に必要な基礎的技術を身につけ、実践しようとしている。</p> | <p>食生活、住生活や消費行動・家庭経済に関する科学的な知識や技術を身につけ、それを実際の生活にいかそうとしている。</p> |
| <p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組 (授業態度、学習活動への参加状況など) ・提出物 ・定期テスト <p>などから総合的に評価します。</p> | | | |

6 担当者からの一言

| |
|---|
| <p>生活に必要な食生活、住生活、消費生活について学びます。実習等に積極的に取り組み、習得した知識や技術を実生活にいかすことができるよう学習しましょう。</p> <p style="text-align: right;">(担当：小川 陽子)</p> |
|---|